

三菱UFJ国際 ターゲットリターン・ファンド (2%コース)

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2022年3月26日～2023年3月27日

第 3 期 決算日：2023年3月27日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、日本を含む世界各国の株式、債券および通貨等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子・配当収益の確保をめざした運用を行っております。ここに運用状況をご報告申し上げます。当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第3期末 (2023年3月27日)

基準価額	9,861円
純資産総額	232百万円
騰落率	-4.7%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

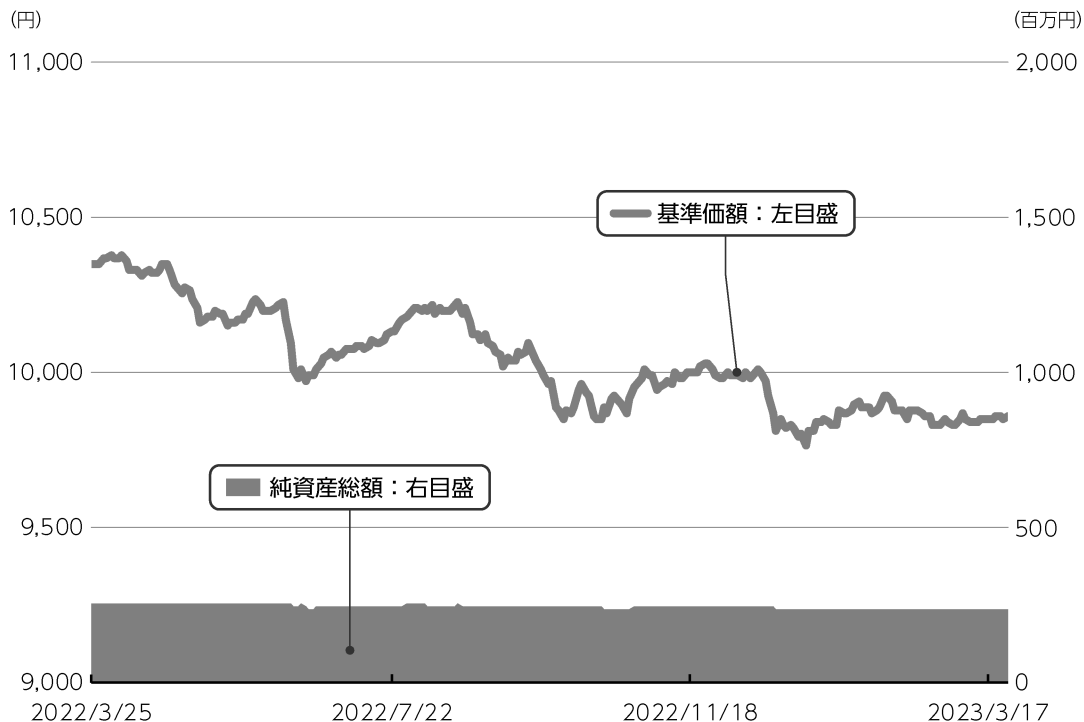
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第3期：2022年3月26日～2023年3月27日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第3期首	10,343円
第3期末	9,861円
既払分配金	0円
騰落率	-4.7%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ4.7%の下落となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

下落要因

組み入れを行った指定投資信託証券のうち、「GIMターゲット・リターン・ファンドF（2%コース）（適格機関投資家専用）」や「SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド（2%コース向け）（適格機関投資家限定）」が下落したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

2022年3月26日～2023年3月27日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	70	0.697	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(33)	(0.332)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(33)	(0.332)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	70	0.700	

期中の平均基準価額は、10,031円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

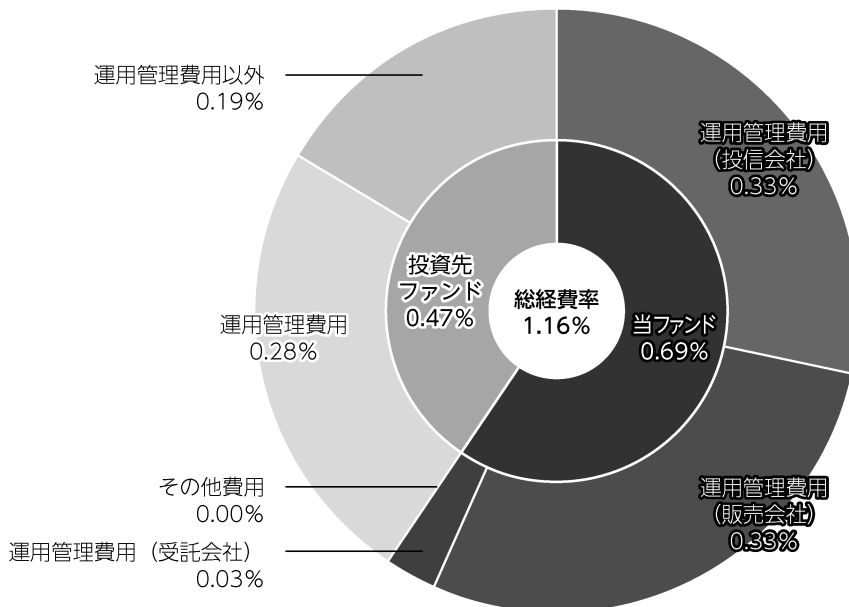
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.16%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.16
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.69
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.28
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.19

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年3月27日～2023年3月27日

最近5年間の基準価額等の推移について



最近5年間の年間騰落率

				2021/3/25 期初	2022/3/25 決算日	2023/3/27 決算日
基準価額	(円)	-	-	10,407	10,343	9,861
期間分配金合計 (税込み)	(円)	-	-	-	0	0
基準価額騰落率	(%)	-	-	-	-0.6	-4.7
純資産総額	(百万円)	-	-	228	254	232

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

第3期：2022年3月26日～2023年3月27日

投資環境について

▶ 株式市況

海外先進国の株式市況は、主要中央銀行による金融引き締め姿勢、インフレ加速及び世界的な景気減速への懸念などを受け、下落しました。

国内の株式市況は、期間中もみあう局面もあったものの、期間を通しては上昇しました。

▶ 債券市況

海外先進国の債券利回りは、主要中央銀行における金融引き締めへの警戒感が高まったことや、物価上昇に対する懸念などを背景に上昇しました。

国内の債券利回りは、日銀による金融政策の修正などを受け上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

日本を含む世界各国の株式、債券および通貨等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子・配当収益の確保をめざしました。

ファンドの運用にあたっては、中長期的な目標リターン（年率2%（信託報酬等控除後））の達成をめざして運用を行いました。

指定投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式、債券および通貨等の幅広い資産（不動産投資信託証券（以下「リート」といいます。）を含みます。）に投資を行いました。

三菱アセット・ブレインズ株式会社から指定投資信託証券の選定に関する助言を受け、運用を行いました。

その結果、当期間は「SMTAM・FOFs用先進国債券・通貨ターゲットリターン・ファンド（2%目標コース）（適格機関投資家専用）」、「SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド（2%コース）（FOFs用）（適格機関投資家専用）」、「SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド（2%コース向け）（適格機関投資家限定）」、「GIMターゲット・リターン・ファンドF（2%コース）（適格機関投資家専用）」、「野村FOFs用・ターゲット・リターン・8資産バランス（2%コース向け）（適格機関投資家専用）」へ概ね均等に投資しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第3期
	2022年3月26日～2023年3月27日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	124

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

日本を含む世界各国の株式、債券および通貨等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子・配当収益の確保をめざします。ファンドの運用にあたっては、中長期的な目標リターン（年率2%（信託報酬等控除後））の達成をめざして運用を行います。

指定投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式、債券および通貨等の幅広い資産（リートを含みます。）に投資を行います。

今後も三菱アセット・ブレインズ株式会社から指定投資信託証券の選定に関する助言を受け、運用を行います。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

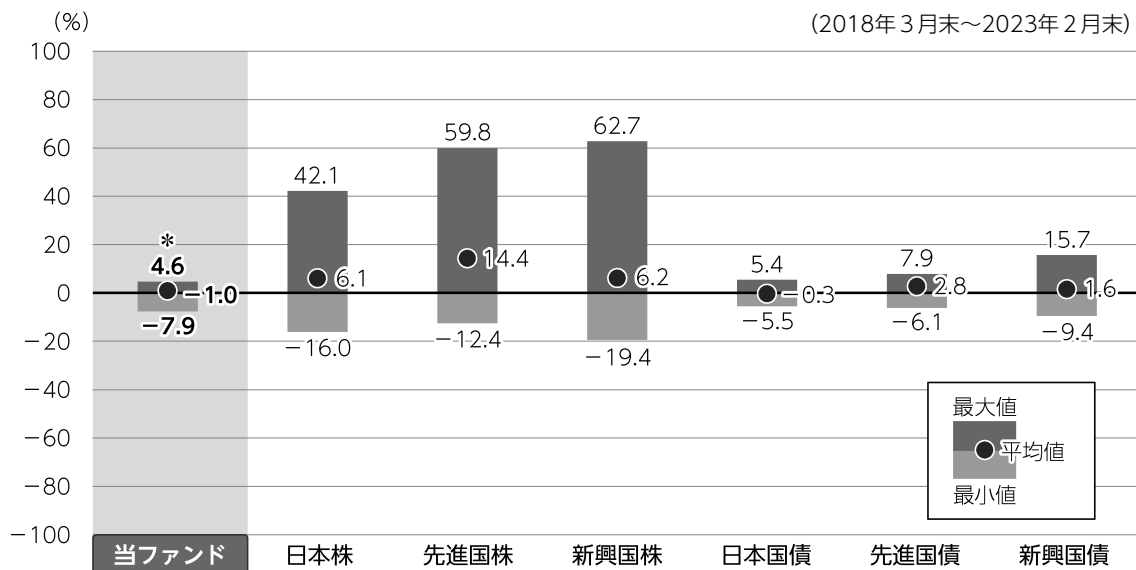
商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2020年3月27日設定）
運用方針	<p>投資信託証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式、債券および通貨等の幅広い資産（不動産投資信託証券を含みます。）に投資を行います。</p> <p>中長期的な目標リターン（年率2%（信託報酬等控除後））の達成をめざして運用を行います。当目標を達成するために、年率3%*（信託報酬等控除前）程度のリターンをめざす投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）へ、均等投資します。指定投資信託証券は定量・定性評価等を勘案して適宜見直しを行います。</p> <p>指定投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>投資対象とする指定投資信託証券において、実質組入外貨建資産に対する為替ヘッジが行われている場合があります。</p> <p>指定投資信託証券は、三菱アセット・ブレインズ株式会社の助言に基づき決定します。</p>
主要投資対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	日本を含む世界各国の株式、債券および通貨等の幅広い資産を実質的な主要投資対象とし、中長期的な値上がり益の獲得および利子・配当収益の確保をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p> </div>

* 指定投資信託証券では信託報酬やその他の費用がかかり、当ファンドにおいても費用がかかります。そのため、指定投資信託証券ではこれらの経費を控除する前の目標リターンとして3%程度を設定し、当ファンドの目標リターンはこれらの経費を控除した後の2%に設定しています。

目標リターン（年率2%（信託報酬等控除後））はポートフォリオを構築する際の目標値として使用します。このため、ファンドの実際のリターンが目標リターンを上回る場合や下回る場合があり、その達成を示唆あるいは保証するものではありません。

投資はリスクを伴うものであり、投資元本を割り込むことがあります。また、一般的に期待リターンの高い投資対象はリスクも高く、期待リターンの低い投資対象はリスクも低い傾向があります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年3月から2023年2月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

*ファンドについては2021年3月～2023年2月の同様の騰落率を表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）
日本国債	NOMURA-BPI（国債）
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本）
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2023年3月27日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：5銘柄)

ファンド名	第3期末 2023年3月27日
GIMターゲット・リターン・ファンドF (2%コース) (適格機関投資家専用)	19.9%
SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド (2%コース向け) (適格機関投資家限定)	19.8%
SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド (2%コース) (FOFs用) (適格機関投資家専用)	19.8%
SMTAM・FOFs用先進国債券・通貨ターゲットリターン・ファンド (2%目標コース) (適格機関投資家専用)	19.7%
野村FOFs用・ターゲット・リターン・8資産バランス (2%コース向け) (適格機関投資家専用)	19.6%

※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

※上記のうち、上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

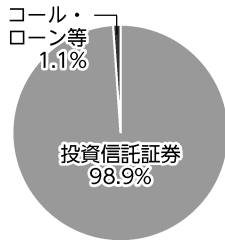
純資産等

項目	第3期末 2023年3月27日
純資産総額 (円)	232,714,282
受益権口数 (口)	235,987,018
1万口当たり基準価額 (円)	9,861

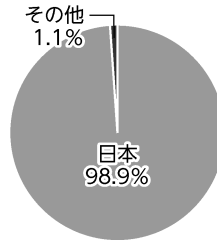
※当期中において追加設定元本は26,575,127円
同解約元本は 36,579,811円です。

種別構成等

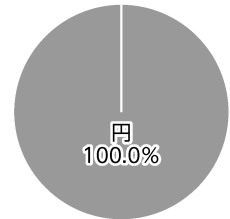
資産別配分



国・地域別配分



通貨別配分



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合せて運用しているものを含みます。

※【国・地域別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行地、発行通貨を表示しています。

2023年1月16日現在

組入上位ファンドの概要

▶ GIMターゲット・リターン・ファンドF（2%コース）（適格機関投資家専用）

基準価額の推移

2022年1月17日～2023年1月16日



組入上位10銘柄

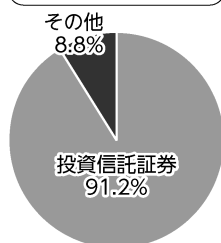
(組入銘柄数：5銘柄)

	銘柄名	種別	投資国	投資比率
1	JPM BETABUILDERS US TREASURY BOND 1-ETF	投資信託証券	アメリカ	37.8%
2	JPMORGAN GLOBAL RESEARCH ENHANCED IN-ETF	投資信託証券	アイルランド	21.6%
3	JPMORGAN USD CORPORATE BOND RESEARCH-ETF	投資信託証券	アイルランド	20.5%
4	JPMORGAN BETABUILDERS US TREASURY BO-ETF	投資信託証券	アメリカ	9.7%
5	JPMORGAN BETABUILDERS EUR GOVT UCITS-ETF	投資信託証券	アイルランド	1.6%
6				
7				
8				
9				
10				

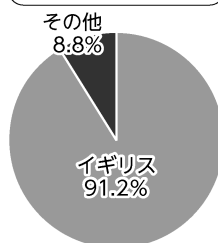
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

種別構成等

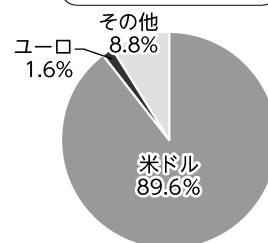
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産（負債控除後）です。

(注) 国別配分は発行国を表示しています。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2022年1月18日～2023年1月16日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	31円	0.296%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率、期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10,612円です。
（投信会社）	(27)	(0.258)	投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
（販売会社）	(1)	(0.005)	販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) 売買委託手数料	11	0.108	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{[期中の売買委託手数料]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
（投資信託証券）	(11)	(0.108)	有価証券の取引等の仲介業務およびこれに付随する業務の対価として証券会社等に支払われる手数料
(c) その他費用	231	2.177	(c) その他費用 = $\frac{\text{[期中のその他費用]}}{\text{[期中の平均受益権口数]}}$
（保管費用）	(218)	(2.052)	保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用
（監査費用）	(2)	(0.022)	監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用
（その他）	(11)	(0.103)	その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	273	2.581	

(注) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

2023年1月10日現在

組入上位ファンドの概要

▶ SMDAM・ターゲットリターン型マルチアセットファンド（2%コース向け）（適格機関投資家限定）

基準価額の推移

2022年1月11日～2023年1月10日

(円)



組入ファンド等

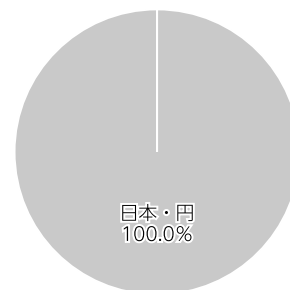
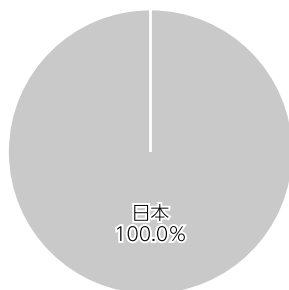
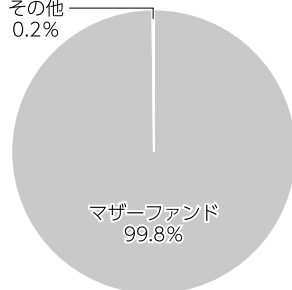
(組入銘柄数：1 銘柄)

銘柄名	組入比率
マルチアセット・キャリアマザーファンド(安定型)	99.8%
コールローン等、その他	0.2%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

種別構成等

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)

その他
0.2%

※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

1万口当たりの費用明細(2022年1月12日から2023年1月10日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	29円	0.296%	信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (経過日数 / 年日数) 期中の平均基準価額は9,690円です。
(投信会社)	(26)	(0.269)	投信会社: ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(1)	(0.005)	販売会社: 交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.022)	受託会社: ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.052	売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 / 期中の平均受益権口数 売買委託手数料: 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(5)	(0.052)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 / 期中の平均受益権口数 有価証券取引税: 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	16	0.165	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数
(保管費用)	(14)	(0.149)	保管費用: 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.011)	監査費用: 監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.005)	その他: 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	50	0.513	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

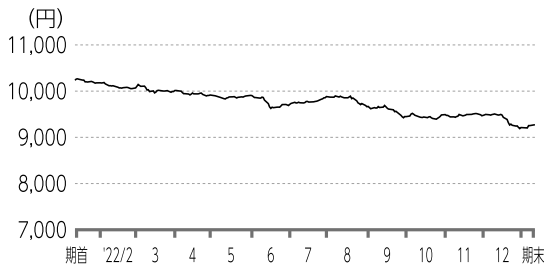
※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

2023年1月10日現在

組入上位ファンドの概要

マルチアセット・キャリーマザーファンド(安定型) (2022年1月12日から2023年1月10日まで)

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

(単位：円)

項目	(内訳)	金額	(内訳)
売買委託手数料	(投資信託証券)	6	(6)
有価証券取引税	(投資信託証券)	0	(0)
その他費用	(保管費用) (その他)	15	(15) (0)
合計		21	

※項目の概要については、前記「費用明細」をご参照ください。

組入上位銘柄

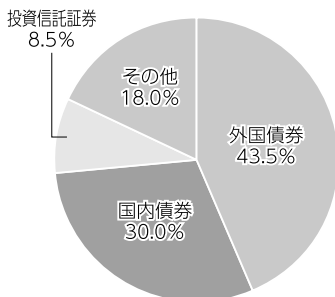
(基準日：2023年1月10日)

	銘柄名	組入比率
1	162 20年国債	30.0%
2	FRANCE OAT. 0.5 05/25/25	16.4%
3	FRANCE OAT. 1.25 05/25/34	10.3%
4	FRANCE OAT. 1.5 05/25/31	9.0%
5	UK GILT 0.25 01/31/25	4.0%
6	ISHARES CORE FTSE 100	2.7%
7	NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	2.2%
8	ISHARES CORE DAX DE EUR ACC	2.2%
9	AUSTRALIAN GOVERNMENT 3.75 04/21/37	1.9%
10	US TREASURY N/B 1.125 05/15/40	1.9%
	全銘柄数	11銘柄

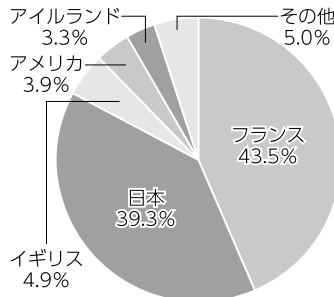
※比率は、純資産総額に対する割合です。

※全組入銘柄につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

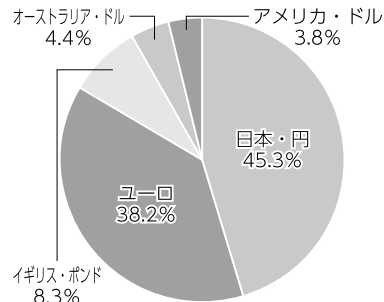
資産別配分(純資産総額比)



国別配分(ポートフォリオ比)



通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

※通貨別配分は為替ヘッジ前の比率です。外貨建資産に対して対円で為替ヘッジを行っています。

※基準日は2023年1月10日現在です。

2023年1月20日現在

組入上位ファンドの概要

▶ SOMPOターゲット・リターン戦略ファンド（2%コース）（F o F s用）（適格機関投資家専用）

基準価額の推移

2022年1月20日～2023年1月20日

(円)



組入ファンド

(組入銘柄数：5銘柄)

※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

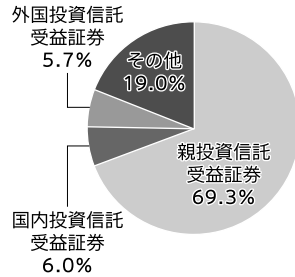
組入ファンド

	第3期末 2023.1.20
損保ジャパン外国債券マザーファンド	44.5%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	24.8%
NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信	6.0%
iシェアーズ・コアS&P500 ETF	3.3%
バンガード・FTSE・ヨーロッパETF	2.5%

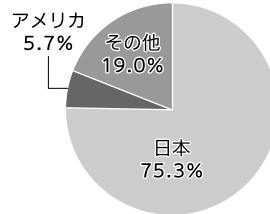
注. 比率は第3期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

種別構成等

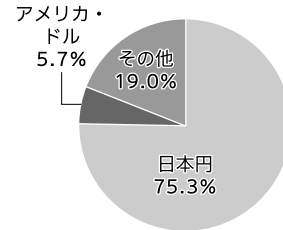
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第3期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

1万口当たりの費用明細

期中の1万口当たりの費用の割合は**0.384%**です。

項目	第3期 2022.1.21~2023.1.20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	29円	0.297%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,701円です。
（投信会社）	(25)	(0.253)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.037	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(4)	(0.037)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	5	0.050	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(3)	(0.035)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(1)	(0.011)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	38	0.384	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

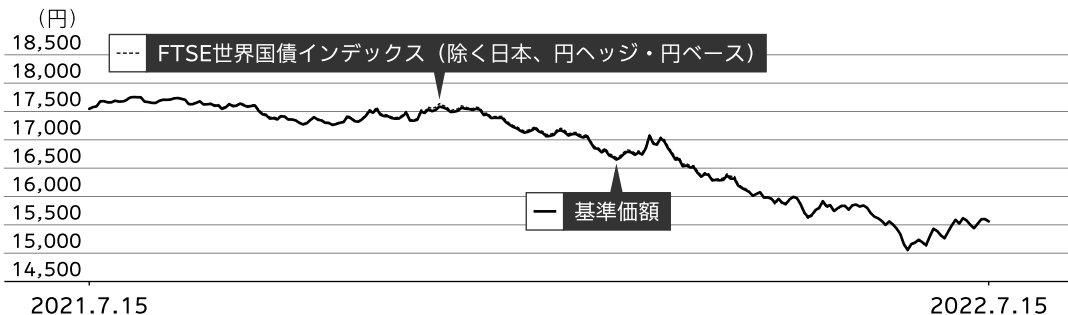
注4. 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

2022年7月15日現在

組入上位ファンドの概要

損保ジャパン外国債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース））の推移は、2021年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

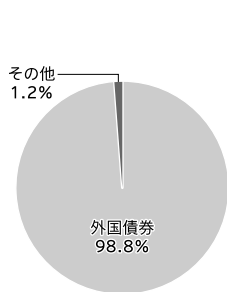
項目	2021.7.16～2022.7.15	
	金額	比率
その他費用	10円	0.062%
(保管費用)	(10)	(0.061)
(その他)	(0)	(0.001)
合計	10	0.062

期中の平均基準価額は16,849円です。

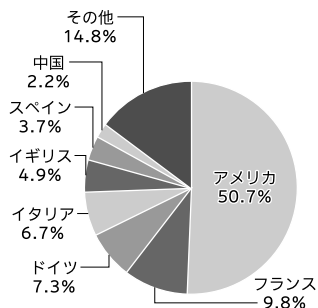
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 Treasury 2.125 250515	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	11.4%	
2 Treasury 2.125 240229	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	5.3%	
3 Treasury 2.75 250228	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	5.0%	
4 Treasury 0.875 240131	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	4.2%	
5 Treasury 1.75 410815	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.4%	
6 Treasury 2.75 280215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.9%	
7 FRANCE 0.25 261125	国債証券	ユーロ	フランス	2.3%	
8 Treasury 0.75 260331	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.1%	
9 ITALY 2.8 281201	国債証券	ユーロ	イタリア	1.9%	
10 Treasury 1.25 310815	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	1.8%	
組入銘柄数		130銘柄			

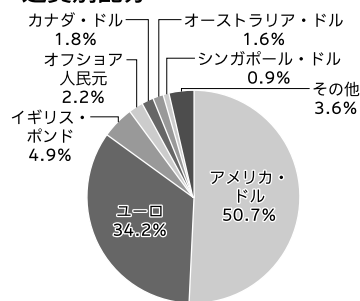
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2022年7月15日)現在のものです。

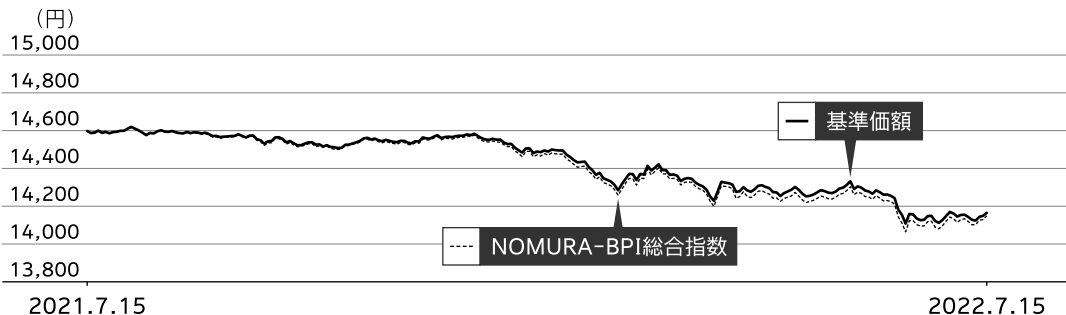
注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

2022年7月15日現在

組入上位ファンドの概要

損保ジャパン日本債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の推移は、2021年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

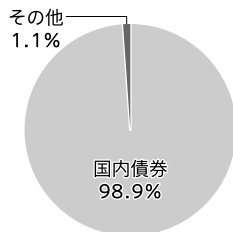
項目	2021.7.16～2022.7.15	
	金額	比率
その他費用	0円	0.000%
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は14,436円です。

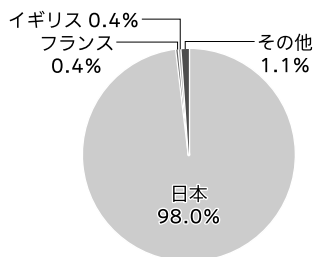
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第351回利付国債（10年）	国債証券	日本円	日本	4.1%
2 第426回利付国債（2年）	国債証券	日本円	日本	3.9%
3 第143回利付国債（5年）	国債証券	日本円	日本	3.5%
4 第139回利付国債（5年）	国債証券	日本円	日本	3.4%
5 第150回利付国債（5年）	国債証券	日本円	日本	3.3%
6 第147回利付国債（5年）	国債証券	日本円	日本	3.1%
7 第346回利付国債（10年）	国債証券	日本円	日本	2.9%
8 第433回利付国債（2年）	国債証券	日本円	日本	2.7%
9 第145回利付国債（20年）	国債証券	日本円	日本	2.7%
10 第174回利付国債（20年）	国債証券	日本円	日本	2.7%
組入銘柄数		98銘柄		

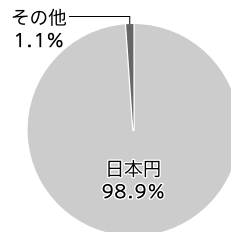
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年7月15日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

2022年7月10日現在

組入上位ファンドの概要

▶ NEXT FUNDS TOPIX連動型上場投信

基準価額の推移（1口あたり）



※ 期中の分配金は含みません。

(ご参考) 費用明細

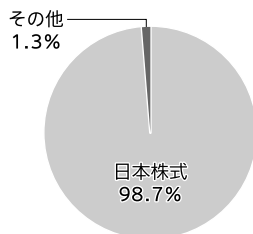
項目	2021.7.11~2022.7.10
	比率
運用管理費用	0.07%
その他費用	0.02%
トータルエクスペンスレシオ	0.09%

※トータルエクスペンスレシオとはファンドの運用管理費用およびその他費用をファンドの平均純資産総額で割ったものです。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	組入比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	日本円	日本	4.0%
2 ソニーグループ	電気機器	日本円	日本	2.9%
3 キーエンス	電気機器	日本円	日本	1.9%
4 日本電信電話	情報・通信業	日本円	日本	1.7%
5 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	日本円	日本	1.7%
6 任天堂	その他製品	日本円	日本	1.4%
7 ソフトバンクグループ	情報・通信業	日本円	日本	1.3%
8 日立製作所	電気機器	日本円	日本	1.3%
9 KDDI	情報・通信業	日本円	日本	1.3%
10 武田薬品工業	医薬品	日本円	日本	1.3%
組入銘柄数		2,170銘柄		

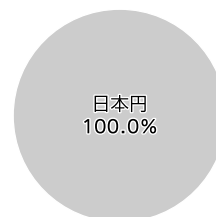
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、トータルエクスペンスレシオは組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

注2. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年7月10日）現在のものです。

注3. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

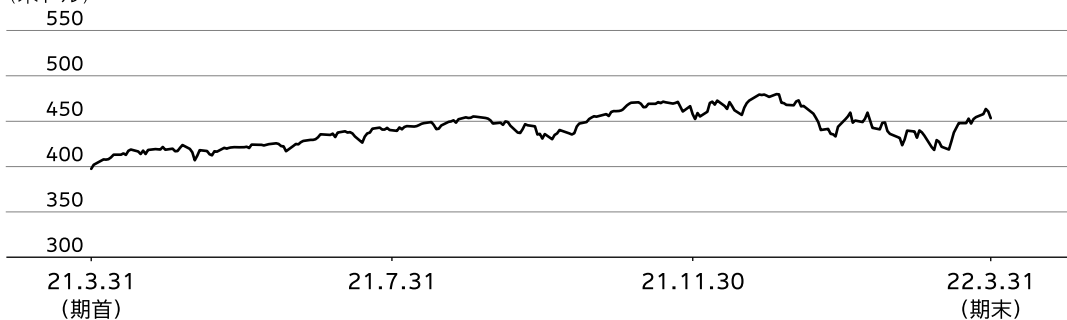
2022年3月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ iシェアーズ・コアS&P500 ETF

基準価額の推移

(米ドル)



※期中の分配金は含みません。

(ご参考) 費用明細

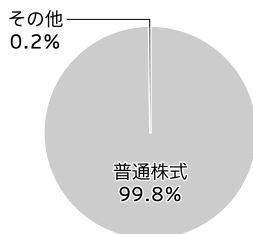
項目	2021.4.1~2022.3.31
	比率
トータルエクスペンスレシオ	0.03%

※トータルエクスペンスレシオはブラックロック・ファンド・アドバイザーズが開示しているものです。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種	組入比率
1 Apple Inc.	情報技術	7.1%
2 Microsoft Corp.	情報技術	6.0%
3 Amazon.com Inc.	一般消費財・サービス	3.7%
4 Tesla Inc.	一般消費財・サービス	2.4%
5 Alphabet Inc., Class A	通信	2.2%
6 Alphabet Inc., Class C	通信	2.0%
7 NVIDIA Corp.	情報技術	1.8%
8 Berkshire Hathaway Inc., Class B	金融	1.7%
9 Meta Platforms Inc, Class A	通信	1.3%
10 UnitedHealth Group Inc.	ヘルスケア	1.3%
組入銘柄数		507銘柄

資産別配分



注1. 組入上位10銘柄、資産別別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年3月31日）現在のものです。国別配分および通貨別配分の比率については、入手できるデータがないため記載しておりません。

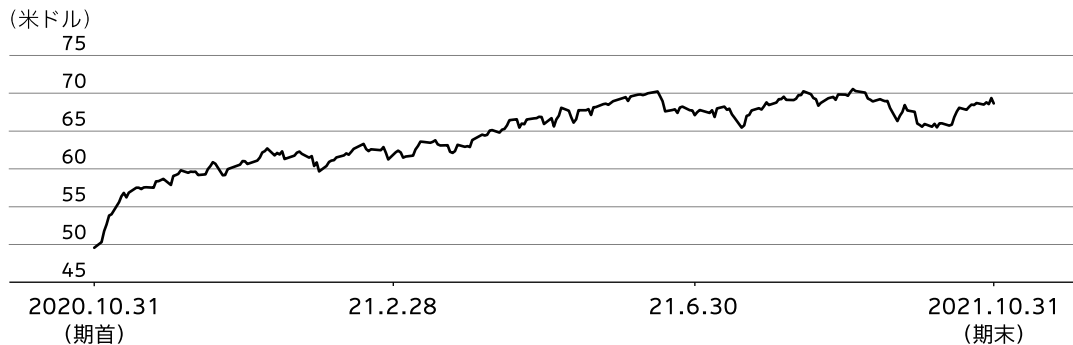
注2. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

2021年10月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ バンガード・FTSE・ヨーロッパETF

基準価額の推移



※期中の分配金は含みません。

(ご参考) 費用明細

項目	2020.11.1~2021.10.31
	比率
トータルエクスパンスレシオ	0.08%

※トータルエクスパンスレシオはザ・バンガード・グループ・インクが開示しているものです。

組入上位10銘柄

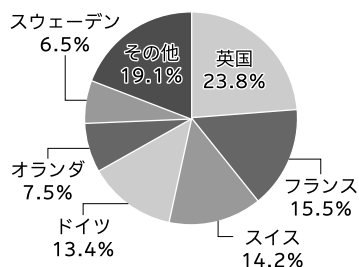
銘柄名	比率
1 Nestle SA	2.9%
2 ASML Holding NV	2.5%
3 Roche Holding AG	2.2%
4 LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE	1.5%
5 AstraZeneca plc	1.5%
6 Royal Dutch Shell plc	1.4%
7 Novartis AG	1.4%
8 Novo Nordisk A/S	1.3%
9 SAP SE	1.2%
10 HSBC Holdings plc	1.0%
組入銘柄数	1,348銘柄

※組入比率は、各組入銘柄の市場価格をバンガード・FTSE・ヨーロッパETFの純資産総額で除して計算しています。

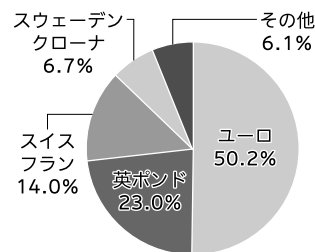
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 上記の円グラフは、バンガード・FTSE・ヨーロッパETFの組入資産の情報を示しています。

指数に関して

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。







三菱UFJ国際投信